



真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

新年号

2026

発行所 真宗大谷派 旭川別院

輪番 福田 大

〒070-0030 旭川市宮下2丁目

TEL.0166-22-2409

FAX.0166-22-2411

■印刷:植平印刷株式会社

■旭川別院ホームページ

旭川別院 | 検索

報恩のこころ 〜帰依三宝の生活〜



木古内町 圓照寺住職 仁 禮 秀 嗣

新しい年をお迎えして

歸命無量壽如來
南無不可思議光

〔真宗大谷派勸行集〕(赤本)三頁
〔教行信証〕行巻「正信偈」・聖典二二六頁

一日のたしなみには、あさつとめに、かかさじと、たしなめ。一月のたしなみには、ちかきところ、御開山様の御座候うところへまいるべしと、たしなむべし。一年のたしなみには、御本寺へまいるべしと、たしなむべし」と云々。

〔蓮如上人御一代記聞書〕四五条

・聖典一〇三六頁

新しい年をお迎えいたしました。先の報恩講では、多くの方々からのご厚情をいただき、まことにありがとうございました。心より厚くお礼を申し上げます。

今年もまた、「あさつとめ」(朝夕のお勤め)と、親鸞聖人にお会いできる毎月のご法座へのご参詣、また、北海道からはなかなか京都の御本山(真宗本願寺・東本願寺)に身を運ぶことは叶いませんが、お手次のお寺をはじめ、報恩講という御仏事に出遇うことができそうです。心よりお念じ申し上げます。

仏教徒のよりどころ

お寺の法要や報恩講をはじめ、さまざまなご法座でご法話をお聞きする際に唱和する

「三帰依文」は、真宗門徒に限らず、万国共通の、仏教徒としての大切な証しです。

自ら仏に帰依したてまつる。(帰依仏)
自ら法に帰依したてまつる。(帰依法)
自ら僧に帰依したてまつる。(帰依僧)

〔真宗大谷派勸行集〕(赤本)初頁

〔パーリ語〕

ぶつだん さらなん がつちやーみ
だんまん さらなん がつちやーみ
さんがん さらなん がつちやーみ

〔同前〕七四頁

「三帰依」とは、仏・法・僧の三つの宝(三宝)への帰依(よりどころ)ということ、「帰依三宝」とは、それらの三宝に帰依するということです。

親鸞聖人が「和國の教主」(赤本一二二頁)として尊ばれた聖徳太子の『十七条憲法』には、

篤く三宝を敬え。三宝は仏・法・僧なり。

(中略)

其れ三宝に帰りまつらずは、何を以てか枉れるを直さん。(聖典一一五五頁)

と、帰依三宝の生活が願われています。

仏とは「仏さま」、法とは「仏さまの教え」、そして僧とは、僧侶ということではなく、「僧伽(サンガ)」、私たちがいたがいたがやうい言葉に置き換えれば、「道を求めて聞法の場に集う私たち一人ひとり」をいいます。また「何を以てか枉れるを直さん」とは、「三宝をよりどころとしなければ、真の帰すべきよりどころを知らずに

迷い続ける私たちの錯覚を、どうして直すことができるでしょうか」という意味でしょう。

僧伽あればこそ三宝

この「僧伽」について、当「別院だより」春号や夏号でもふれた、十数年前の「北海道教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌」という場で出遇った、四衢亮先生(岐阜県高山市・不遠寺)の言葉です。

仏教は、僧伽の中で語り合い、確かめ合つて聞くものです。聞き間違いや、聞いたつもり、わかつたつもりという錯覚が、僧伽によつて直されます。共に聞いて確かめ合つて、そして一緒に生きること、僧伽が形成され、僧伽の中で仏教が伝わつてきたと言えます。結びつきが希薄な出入り自由な関係では、共に語らず確かめ合わず、共に生き合わずにそれぞれの場所へ散っていくので、僧伽が形成されないのです。

(北海道教区「教区御遠忌だより」

第4号/二〇一二年十一月発行)

※「糾」の字を「直」の字に変更

聞法の中で唱和することの多い「三帰依文」という経文ですが、「自ら僧(僧伽)に帰依したてまつる。」と声に出して唱和するものの、私たちが、心のどこかに、「仏」と「法」があれば、仏法を聞くことができると思つてはいないでしょうか。仏さまの教えを「ためになるお話」として聴いてしまふ心、知的関心として聴こうとする心はないでしょうか。それでは「三宝」になりません。教養として聴く仏法は、聴けば聴くほど、わが身を立派なもの、聞いたつもり、分かつたつもりのもので、かえつて私たちを迷わせていくことにも、なりかねないのではないのでしょうか。

「いいご門徒さんに出あったなあ!」

十年以上前になりますが、自坊の秋彼岸会

のお勤め前、あるご門徒の男性が来られ、本堂の玄関で怒声をあげられたことがありました。「住職はいるか!住職出てこい!」と。母親が慌てて私を呼び、私も慌てて玄関口に駆けつけました。

母親は手と頭を床につけ、ひたすら謝っています。「こんな子どもに育てた私が悪い。どうか許してください」と…。ところが私自身、何をかして謝らねばならないのかが分からず、先ずはとにかく私も土下座して謝りました。が、何を謝っているのか確認したい私は、そのご門徒の方に、自分がいつたい、どんな失礼をしてしまったのかを尋ねました。すると、

「住職、あなたは先月のお盆参りでうちに来たときに、俺が住職のためにと用意して冷やしておいた、そば茶を飲まないで次の家のお参りに行つてしまっただろう。そんな冷たいお寺さんとは思わなかった。」

と言われました。

その場では、「そんなことぐらいで、なんで土下座までしなきゃならないのか」と思つていた私でしたが、後々思い返しながら愕然としたのは、確かにあの日私は、お内仏の前でしか坐ることなく、ご挨拶のときも、世間話をするときも、立ち話どころか歩きながらの会話しかしていなかったのです。

また、そのご門徒の方は、一人暮らしをされておられ、その数年前、ご自身が長く仕事で家を空けられ、帰宅したときには奥様が家の中で亡くなられていた方でありました。本当に大変なことをしてしまつたと、心の中で再び謝つたことでした。

それから数年経ち、その時のことを、ある先輩僧侶に半ば愚痴のようにお話したときです。次のような言葉が返ってきました。

「仁禮くん、いいご門徒さんに出あったなあ!」

「仁禮くん、大変な目に遭つたなあ」ではありません。「いいご門徒さんに出あったなあ!」という言葉に、私は「僧伽」という言葉の重みを感じさせられました。

あらためて「僧伽」とは、「道を求めて歩む者の集い」であり、「親しい仲間」のことではあります。道を求めて歩もう、生きようとするすべての人とのつながりの中でこそ、この身に響き聞こえてくる真実があるのでしょう。私たち真宗門徒、仏教徒に託された願いは、「帰依三宝の生活」であることを憶います。

謹賀新年

輪番(代表役員)

福田 大

責任役員

新谷龍一郎
佐古 光臣
荒井 保明

常議員

○加藤 亨
諏訪 宣雄
生駒 雅彦
熊崎 智浩
福本 清
○宗隆 教信
塚本 信樹
木下 雅之
田中 祥子
屋敷 桂子

院議會議員

○相河 孔輝
○旭 正依
○桂 励
○桑谷 一成
○新田 守
○佐藤 英行
○荒木 靖人
○数越百合子
○安藤 信幸
○鈴木 康弘
○池田 由恵
○倉橋 恒彦
○脇坂 崇志
○藤岡 明良
○松澤 正樹
○埴山 和成
○吉田 幸麿
○小澤 聡
○尾田 泰一
○向井 敏純
○武藤 満
○木津 勝
○三上 定子
○二坂 徹
○針田留美子

監事

梶 勝洋 小城 公明

本年もどうぞ宜しく
お願い申し上げます。

(順不同・〇印 崇敬寺院御住職)

新年のご挨拶 ― 光寿無量 ―



真宗大谷派 旭川別院 輪番

福田 大

道俗時衆共同心

『道俗時衆、共に同心に』正信念仏偈

新年を皆様方と共々にお迎えできましたこと、おめでとうございます。

今、世界は、日本は、何処に向かつて歩んでいるのか。

少子高齢化による人口減少から労働力の不足、物価高騰による国民生活への打撃など出口の見えない課題の山積にただ憔悴しきっているのが、我々の実感であるように思います。

当院にあっても現代という時代社会にあつて、報恩講を初めとする諸行事での担

い手の不足や収入減による予算の減少にたじろいでいるのが現状であります。

道俗時衆共同心の『時衆』という言葉

宮城顥氏は「その時代、社会の問題をいやおうなしにその身に受けて生きている人々という意味」と、また、『伝統』ということ

とにつきまして、「伝統」ということは、それぞれの時代にこたえてきたということがあるわけです。それぞれの時代に生きてはたらくすがたをとってきた。それぞれの時代にそのいのちを燃やしてきたのです。ですから、時代、社会の中にいのちをもやしてきたもののいわば連環が伝統なのです。」と、述べられています。

当院においての伝統も数知れぬ方々が、時時刻々と変化してくる時代社会の中で、それぞれにいのちを燃やし、受け継がれてきたことを実感させられることでもあります。

この時代、社会に伝えて行くべく、日ごと、社会の一線で、厳しい現実に見舞われて生活されている御門徒の皆様方も、年中白足袋を履いて、生活をして時代社会に身を置きながらも、この先の一步を踏み出せずに茫然自失の只中にいる別院職員も、共々に親鸞聖人の本願念仏の御教えを聞き、時代社会の現状を示唆して頂ける方々をお招きして、一同にお話を聞いていく場と機会をもつことが、別院にとりましては、当に時機純熟であると念われることであります。

現在、二〇二六年の四月より、『慶縁会』と『法咲会(青年会)』の両会を新設させて頂く準備を進めさせて頂いていることとでございます。御門徒各位におかれましては、ご理解とご協力をお願い申し上げます。賛同の上、ご参加を賜りますよう、何卒、宜しく御願い申し上げます。

報恩講報告

令和七年十一月一〜五日

令和七年度旭川別院報恩講を厳修させて頂いたいただきました。鍵役・宣心院殿の御参修、御法中並びに雅楽会「和暢会」の御参勤、御講師・黒田進氏、仁禮秀嗣氏の御出講、御門徒の皆様のお参拝をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。報恩講を厳修させて頂いた中、自身の一生涯どこまでも聞法であることを確かめさせて頂きました。

本年度も三日・四日のお齋はお弁当を頂きました。また、五日のお齋は幌加内よりそば打ち職人の方々に来院していただき、幌加内そばを振舞っていただきました。遠方よりお越しいただきましたありがとうございます。

なお、御門徒の皆様には準備から多大なる御尽力を賜り、重ねて御礼申し上げます。合掌

春季彼岸会のご案内

令和八年三月十九日(木)〜二十一日(土)

※二十日(金)は相続講員物故者追弔会と合わせてお勤めします。

一切道俗もろともに 帰すべきところぞさらになき

(全ての出家・在家の者は皆そろって 帰すべきところが全くない)

安樂勸帰のころぞし 鸞師ひとりさだめたり

(安樂という阿弥陀仏の世界を勧め、安樂に共に帰す志 鸞鸞大師一人が決められた)

この一首は親鸞聖人が曇鸞大師(どんらんだいし)に関する記述に基づいて書かれたご和讃(わさん、和語の讃歌)です。「どちらへ向いていいかわからない(金子大榮『高僧和讃講話』二六二頁、彌生書房、一九七六年)私たち一人ひとりに、「阿弥陀仏の世界」を教えてくだっています。

「彼岸」とは「仏様のさとりの世界」を表す語です。先達を偲びつつ、私が依る世界・帰着する世界を確かめさせていただく縁がお彼岸のお参りです。皆様のご参拝をお待ちしております。

- 時間・場所 午後一時〜三時 旭川別院本堂
- 日程 お勤め、ご法話
- 講師 新保 宗之氏(苦小牧市 不退寺住職)

ごあいさつ



真宗大谷派旭川別院 責任役員

佐古 光臣

明けましておめでとうございます。本年は、十二支でいうところの「午」歳です。干支の歳男・歳女にかかわらず皆様健やかに新年を迎えられたことと存じます。

午といえば、以前富山に旅行した際に盆踊りで「春駒」の曲が流れると見物の衆も若駒が飛び跳ねるようにして踊りの輪に加わったのを思い出しました。昨年の報恩講には、大谷暢文鍵役が参修され、福田輪番のもと「和暢会」の雅楽演奏もあり「厳かに務まりました。旭川別院の広い御堂が満堂「団体参拝もあり」になるほどの参拝者があり、喜びに堪えません。報恩講役員の皆様の手間暇を惜しまぬお手伝いと、崇教地域寺院のお寺様とご門徒皆様の仏法相続護寺の思いの賜物です。年頭の挨拶には、拙い文章ではありますが、皆様には良い年でありますようご祈念申し上げます。

合掌

法座・行事案内予定

1月

1日	午前0時	修正会	
16日	午後1時	同朋の会	列座
17日	午前11時	群萌の会初顔合わせ会	昼食あり(お鍋)列座
18日	午後7時	壮年の集い	列座
18日	午前10時	婦人会新年初顔合わせ(ゲーム大会)	昼食あり
未定	午後1時30分	あゆみ会	列座

2月

1日	午後7時	公開学習会	
7日	午後1時	群萌の会	列座
13日	午後1時	初心の集い	
16日	午後1時	同朋の会	輪番・列座
18日	午後1時	婦人会	列座
21日	午後7時	壮年の集い	列座
28日	午後1時	定例法座	
未定	午後1時30分	あゆみ会	九谷 量氏 列座

3月

1日	午後7時	公開学習会	
7日	午後1時	群萌の会	列座
13日	午後1時	初心の集い	
16日	午後1時	同朋の会	輪番・列座
18日	午後1時	婦人会	列座
19日〜21日	午後1時	春季彼岸会	
21日	午後7時	壮年の集い	列座
未定	午後1時30分	あゆみ会	列座

今、旭川別院が新たな一步を踏み出します！

法咲会の開設のご案内

当会においては、当院の若手の職員と共に、親鸞聖人の御生涯に学び、本願念仏の御教えのお話や、『宗祖親鸞聖人を訪ねて』の研修旅行を内容とした会でございます。

初回開催は、二〇二六年四月を予定しております。詳細に付きまして、『旭川別院だより』にて掲載させて頂きましますので、御門徒各位におかれましては、ご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

当会では、若手の僧侶と共に学び、別院にご理解とご協力を頂ける方々を募集しております。

慶縁会の開設のご案内

当会においては、各分野の専門家からのお話や、親鸞聖人の本願念仏の御教えのお話を頂く講師をお迎えし年間二回程度の「講演会」と「総会」また、「宗祖親鸞聖人を訪ねる」研修旅行を持ちたいと予定させて頂いていることです。

御門徒各位におかれましては、何卒、ご理解とご助言を賜わりますようお願い申し上げます。と共、御参加賜わりますようお願い申し上げます。

この会では、企業を経営されている方々と学び、当院の運営に御理解とご協力を頂ける方々を募集しております。

仏前結婚式のご案内

旭川別院で新たな人生の 第一歩をふみだしませんか

現代のお寺のイメージは、葬儀や法事をするところだと思ひます。子どもの初参りや七五三は神社、そして結婚式は教会で…というのが定番ではないでしょうか。しかし、真宗門徒においては古来、人生の節目をお寺の御本尊の前で勤めてきた歴史があります。仏事として結婚式をお寺で勤めてみませんか？



この度、旭川別院にて仏前結婚式を行える準備を進めています。様々な形に対応できる用意もしております。興味のある方は是非見学やご相談にきてください。また、当院の御門徒以外の方でも行うことができますので、お気軽にご連絡ください。※見学等は、必ず予約のご連絡をお願いいたします。

モーニングマルシェのご案内

本堂での朝のお参りと モーニングマルシェで清々しい一時を

当院の晨朝（朝のお参り）では、夏季の期間（八月のお盆参り期間を除き）職員の感話を実施しております。

参詣の皆様には、ぜひ本堂にお参りいただき、職員の感話に耳を傾け心地よい朝の時間を過ごしていただきたく思います。またその際に別院の御門徒や別院関係者で生産された夏野菜販売や朝ごはんの提供、フリーマーケットなど行うモーニングマルシェも開催予定です。お一人でも多くの参詣ご来院をお待ちしております。

詳細につきましては別院だよりに掲載しご案内をさせていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。



終活セミナーのご案内

尋ねよう葬儀の意味、仏事に願われていることを、話そう不安な思いを



近年は、お葬式の形態も家族葬・一日葬・直葬等と縮小されてきております。今一度、本来の意味と願いを回復するため葬儀の重要性を考えてみませんか。また、現代社会に伴い葬儀終了後に遺骨・仏壇・行政手続・遺品整理等と諸問題があるかと思ひます。そんな中、少しでもお役に立てるよう専門家の方をお招きし開催いたします。詳細は次回の「旭川別院だより」にてご案内させていただきます。受講お待ちしております。

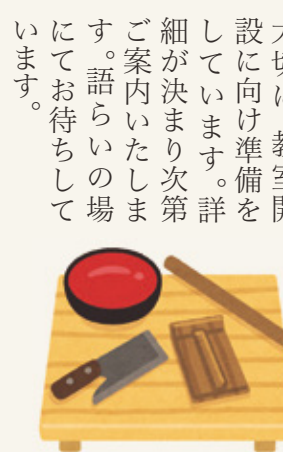


料理教室のご案内

食縁く共に作り共に食するご縁ありく

真宗の法座はお参り、法話、お斎（食事）が伝統です。しかし、時代の流れとコロナ禍でお斎が無くなりつつあります。

食することは、ただ物を食べるのではなく他のいのちを頂いていること。そして、それを共に調理し共に食する中に語り合いや喜びが生まれます。本来食すること、人と人を繋ぐ大事な役割があるのです。現在、お斎という願いと伝統を大切に、教室開設に向け準備をしています。詳細が決まり次第ご案内いたします。語らいの場にてお待ちしております。



旭川別院2026年度 諸行事・講師一覧

(2026年4月1日～2027年3月31日迄)

日 程	法話時間	行事名	講師名	所属(地名・寺院名)
4/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
4/28	13時～15時	定例法座	野原 隆導 氏	第6組赤平市 光運寺
5/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
5/9～5/10	9日17時	しんらん誕生会公開講演会	富岡 量秀 氏	大谷大学教授
	10日10時～11時予定	しんらん誕生会記念講演会	富岡 量秀 氏	大谷大学教授
5/28	13時～15時	定例法座	竹村 見吾 氏	第11組幌加内町 西暁寺
6/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
6/28	13時～15時	定例法座	奥田 和寛 氏	第11組北竜町 法光寺
7/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
7/1	13時～13時半	永代経法要	列座:川村 氏	第一日
7/2	13時～13時半	永代経法要	列座:大野 氏	第二日
7/3	13時～13時半	永代経法要	列座:経森 氏	第三日
7/4	13時～13時半	永代経法要	列座:井畑 氏	第四日
7/5	13時～13時半	永代経法要	列座:小宮山 氏	第五日
7/6	13時～13時半	永代経法要	列座:安居 氏	第六日
7/7	13時～13時半	永代経法要	列座:矢田 氏	第七日
7/8	13時～13時半	永代経法要	輪 番	第八日
7/9	13時～13時半	永代経法要	列座:福芳 氏	第九日
7/10	13時～13時半	永代経法要	列座:水上 氏	第十日
7/11	18時～20時	公開講演会	本明 義樹 氏	京都教区第5組 専光寺
7/12	(早朝)7時～8時頃	暁天講座	本明 義樹 氏	京都教区第5組 専光寺
8/13、14、15	13時～15時	盂蘭盆会法要	川原 興文 氏	第16組江丹別町 泰巖寺
9/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
9/15	13時～14時半	公開講演会	圓淨 和之 氏	第11組深川市 澄心寺
9/22、23、24	13時～15時	秋季彼岸会	黒萩 昌 氏	南第3組蘭越町 法誓寺
10/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
11/1、2、3	1.日初逮夜～3日日中迄	報恩講	府録 雄司 氏	第14組利尻町 本浄寺
11/3、4、5	3日逮夜～5日御満座	報恩講	寺澤 三郎 氏	第13組士別市 教證寺
11/28	13時～15時	御正忌	水上 尚澄 氏	第11組幌加内町 最照寺
12/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
2027年				
12/31	23時半～(鐘楼堂)	除夜の鐘	輪番:列座	鐘楼堂
1/1	0時～(本堂)	修正会	輪番:列座	本 堂
2/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
2/28	13時～15時	定例法座	両瀬 涉 氏	第16組東川町 好蔵寺
3/1	19時～	公開学習会	畠山 明光 氏	第15組湧別町 真宗寺
3/20、21、22	13時～15時	春季彼岸会	禿 覚英 氏	第14組歌登町 順信寺

信心は 聞くに きわまることなる ～蓮如上人～

皆様方の御聴聞を職員一同でお待ちしております 真宗大谷派 旭川別院

法
あ
こ
れ

獅子

お寺の本堂などには、実在する植物や、経典に登場する動物たちが彫刻されています。その中で、獅子の

彫刻が施されている場所があります。皆様はご存知でしょうか。旭川別院では、毎朝六時三十分梵鐘がなります。その梵鐘が吊られている場所、つまり鐘楼堂に獅子がいます。獅子は、現代においてライオンです。ライオンの吠えは、身が震えるほどに力強いものがあります。『大無量寿経』三誓偈の中に、「説法師子吼」と出てきます。獅子が吼えるがごとく法を説く。まさに、阿弥陀の教えは人々を目覚めさせる、ということが宣べられています。毎朝の梵鐘にも、獅子の吼えるがごとく力強く、広く広く、仏法の音が行き渡るといふ願いがあるのではないのでしょうか。



旭川別院婦人会ご報告

大谷婦人会北海道連合会“秋の研修会” in 根室別院 令和七年十月一日

旭川別院婦人会からも担当の井畑さんも同行して下さり少人数でしたがご縁をいただき二泊三日で参加いたしました。講師の川村妙慶先生は、とても素敵なお方でした。ご法話のなかで印象に残っている一つ、妙慶先生がタクシーに乗った時の事、〇〇寺までと言ったところ「えっ寺？何がある」今日はね報恩講といつてね…これからはお寺はいらない！そういらない？と先生これからは「コンビニ」と「酒」と「スマホ」があれば生きていける、そうや生きていけるのや！と乗務員さん。コロナ禍で女房を亡くした人や、迷惑かけたと謝ることも出来なかった。お寺も無く直葬だった。辛いことやコンビニでご飯食べて酒飲んでユーチューブで懐メロ歌って誤魔化して眠ると。ご縁があったら何時でもお寺へいらして下さい。阿弥陀さまは何時でも迎えて下さると伝えたとの事です。懇親会では先生が私達の席へいらして下さり井畑さんと同窓と分かり話が盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。根室は遠い所でした。三日目午後六時頃別院に着きました。婦人会担当の大野主任、安居さんが待つて居て下さいました。そのお心遣いがとても嬉しく思いました。根室別院の柳澤ご輪番 関係者の皆様ありがとうございました。

(屋敷 桂子)

婦人会行事(餅つき) 令和七年十月十八日

十月十八日午前十時より婦人会行事で初めての餅つきが行われました。三台の機械を使つての挑戦なので、実際には多少の心配を抱きましたが、皆で協力しながら新米で(つぶあん、納豆、すりゴマ、大根おろし)などのトッピングなど好きなものを取り、数時間ではありましたが、怪我やのどに詰まる事もなく無事に楽しい一時を過ごしました。欲を言うならもうすこしつきたての餅を召し上がっていただければと思いましたが、又、これからは婦人会では色々行事が予定されています。皆様に御協力とご出席をよろしくお願い致します。

(塚本千代子)



初心の集い

令和八年四月より「令和八年度 初心の集い」を開講します。初心の集いでは身近な仏事などについてお話をしております。「浄土真宗」お参り「お内仏」のことなどを一緒に確認しませんか？

○日程 四月・五月・七月・九月・十月・十二月・三月の十三日(計八回)

○時間 午後一時～三時

○場所 旭川別院本堂(時期によっては一階広間)

○内容 お勤め等(身近な仏事などについて) 法話「正信偈」に聞く(輪番)

○持ち物 念珠・肩衣(かたぎぬ)・正信偈(しょうしんげ)のお勤めの本

※お勤めの本をお持ちでない方にはお貸しいたします。

※会員制・年会費制ではありませんので、どなた様でもご参加いただけます。

第2回旭川別院輪番杯パークゴルフ大会開催

九月六日。気持ちのいい秋晴れの中、快音を響かせながらご門徒・別院職員がスポーツを通して交流しました。

男性の部 優勝 安藤 信幸さん
女性の部 優勝 樽井 優子さん

優勝おめでとうございます。

次回開催のご案内を希望の方は、お気軽に担当横井までご連絡ください。

たくさんのご参加をお待ちしております。



【開催日決定！】しんらん誕生会 二〇二六年五月九日～十日

■五月九日(土)

公開講演会 講師 富岡 量秀氏
坊主bar(有料)

■五月十日(日)

開会式・新門徒初参式
立教開宗法要

記念講演 講師 富岡 量秀氏

子供初参式

旭川千代田小学校吹奏楽部

クイズ王

ビンゴ大会

○クイズ

雪駄飛ばし大会

キッチンカー多数来院 十一時～OPEN

どなたさまでも大歓迎！参加無料！

たくさんの方のイベント・豪華景品を用意してお待ちしております。

※内容については変更になる場合もございます。

※詳しい日程については旭川別院までお問い合わせください。

幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園



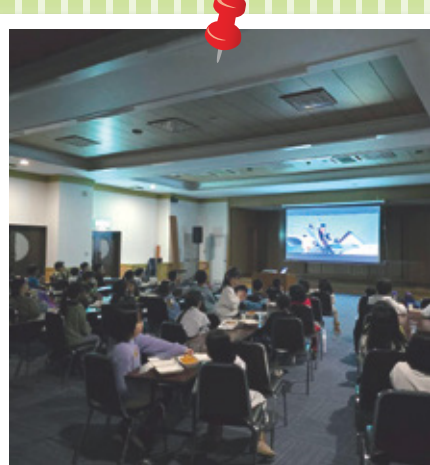
秋・冬の彩り*

お部屋の窓から見える景色や毎日過ごす大谷の杜が、緑から黄色、赤、茶色、白い雪の色へと変化しました。色彩豊かな環境の中で季節の移り変わりを全身で感じている子ども達です。

旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り



秋の畑では、さつまいもや大根などが大豊作！保護者の方々からも野菜や果物をいただき、子ども達と何を作りたいか話し合っ、クッキングを沢山楽しみました♪



春のお泊まり会
新一年生子ども会
いちご狩り
夏のお泊まり会
お盆夕べの集い
(大ピンゴ大会もあるよ)
冬のお泊まり会
*今年も沢山のご参加お待ちしております

別院子ども会

一 真宗大谷派 旭川別院



通夜・葬儀使用料 (葬儀壇・会場費込)
●大谷ホール……………150,000円
(消費税はかかりません)
※詳細は別院迄

歴史ある本来の姿での儀式
旭川別院を会場とした葬儀が執り行えるよう準備を致しました。
亡き故人とお別れを告げるだけの告別式ではなく、故人との繋がりを大切に、
仏教本来の儀式に基づいたご葬儀です。どうぞご利用下さい。

葬儀は旭川別院で 葬儀への提案

一月は私の祖父の祥月(しょうつき)にあたります。毎年、祥月命日にはお寺に帰り、ご門徒さんと共に参りをしています。

祖父は私が中学生の時に亡くなりました。祖父と将棋を指したこと、ご門徒さん宅でのお盆参りで祖父の後ろに座りお勤めをしたこと、様々な思い出があるのですが、祖父が亡くなる数日前、家族に話をしてくれたことが折に触れて思い起こされます。

祖父は「阿弥陀仏の世界は大海のようなものである。大きな流れ・小さな流れが大海に注ぐ。人間にも色々な人がいるが、全てが大海に注ぐように、私たちも同じ阿弥陀仏の世界に帰っていく。いのち平等である」と話しました。そして、私に「みんなに優しく接してね」と言いました。

この言葉が思い起こされるたびに、祖父の願いに背いている自身の姿が知らされるのです。「頭が下がる者になってほしい」、祖父の願いが声なき声として響いてきます。

(水上)

うどんダ